2025年6月6日

国土交通省総合政策局モビリティサービス推進課

地域交通 DX の推進に向けての情報提供依頼（RFI#1）（FY2025）

実施要領

1. 背景・目的

国土交通省総合政策局では、2025年度より MaaS アプリや配車アプリの開発、デジタル・チケットの導入、データ活用の普及など、これまでバラバラに推進されてきた地域交通に関するデジタル活用の施策を「交通空白」解消など「リ・デザイン」の観点から再構築し、「サービス」、「データ」、「マネジメント」、「ビジネスプロセス」の4つの観点から地域交通におけるデジタル活用を一体的に推進する地域交通 DX の取組を新たに開始している。

具体的には、モビリティサービスの品質向上、データ取得環境の構築、データに基づく地域交通政策、産業構造の強靱化の4つの課題へアプローチするためのベスト・プラクティス創出及びその成果の標準化、ナレッジのオープン化を推進し、横展開を図ることとしている。

今後、更なる産学官民連携の拡大に向け、地域交通の課題を解決するデジタル技術の活用に関する多様な主体の先進的・独創的なアイデア、知見・ノウハウ、技術・サービス等の情報を参考とするため、情報提供依頼（RFI：Request for Information）を実施する。

2. 募集テーマ

本 RFI では、以下のテーマごとにアイデアや提案を募集する。

（1）企画テーマ

① サービス品質の向上

他分野連携や移動需要の惹起など、地域交通の課題を解決する新たなモビリティサービスの開発プロジェクト等

② データ取得環境の構築

マルチモーダルな乗降実績データの取得など、バラバラに存在する地域交通に関するデータを標準的、総合的、横断的に取得可能とするプロジェクト等

③ データに基づく地域交通政策

データ分析や路線再編を円滑化する技術開発など、データに基づく地域交通政策を推進するプロジェクト等

④ 事業生産性の向上

業務モデルの標準化やシステムインターフェースの共通化など、地域交通の生産性を向上させるプロジェクト等

(2) 手法

① ベストプラクティス創出

地域交通の課題を解決する新たなサービスや技術そのものを創出し、そのナレッジをアセットとして公開するプロジェクト

② 標準化

ベストプラクティス等を踏まえ、業務モデル、業務システム、データ仕様、システムインターフェース仕様等の標準化を行うプロジェクト

(3) 重視するポイント

① ニーズ

課題・ニーズの視点から、社会課題の解決、または新たなサービス創出に資することを目指しているか。

② イノベティブ

技術・サービス、事業・ビジネスモデル等の面で、先進性や独創性のある取組であること。

③ フィジビリティ

アイデア・構想にとどまることなく、技術・サービス開発や社会実装に向けた実現性を有するものであること。

④ オープン

取組の成果は原則としてオープンなものとし、広く産学官民の各主体により活用できるようにすること。

3. 応募者の要件

応募者は、法人、または、法人に属する個人とする。個人の場合は、所属する法人のルールに沿って対応いただきたい。

また、応募者は前項の各募集テーマに係る取組の実施主体となりうる者とする。反社会的組織またはこれに属する者でないこと。

産（企業・事業所、業界団体等）、学（大学・研究機関等）、官（自治体等）、民（NPO 法人等）等、幅広い主体からの提案を期待する。

4. 募集期間

令和7年6月6日（金）から令和7年7月4日（金）まで

5. 情報提供の方法

（1）応募書類

別添「応募様式」に必要事項を記入の上、（2）提出方法に記載の方法にて提出すること（補足説明資料の添付も可）。

また、情報提供の内容毎にファイルを分けて提出すること（複数のテーマの情報提供や1つのテーマで複数の情報提供をする場合は、シートを増やさず、ファイルを分けて提出）。

（2）提出方法

10. に示すメールアドレスまで電子メールで送付すること。

- ・ 件名に「2025年度 地域交通 DX RFI 応募（所属団体名）」と明記すること。
- ・ 応募書類全体の容量が10MBを超えないように注意すること。

6. 情報提供資料の取扱い

応募者から提出された情報提供資料は、国土交通省総合政策局により、地域交通 DX の2025年度以降の事業や調査・研究のテーマ・内容等の検討のための参考資料として活用する。

なお、本 RFI で情報提供されたものを国土交通省総合政策局の事業テーマとして取り上げるようになった場合、あらためて業務等の公募等を行う予定である。

このとき、RFI で情報提供を行った者が必ず採択されるものではないことをご了承いただきたい。

応募者から提出された情報提供資料は、国土交通省総合政策局のみの取扱いとし、そのまま対外的に公表することはしない。ただし、一定の整理を行い、提案者に確認をとったうえで公表する可能性がある。このため、特に、公知情報ではないものについては、関係者の了解を得たうえで情報提供いただきたい。

情報提供内容に関し、応募者が保有する知的財産権（著作権、特許権等）は、応募者に留保される。

応募者の個人情報については、本 RFI の目的に沿って適切に管理する。

7. その他留意事項

- ・ 情報提供に係る費用はすべて応募者が負担するものとする。
- ・ 本 RFI の対象以外の施策・事業等に関する一般的な意見・提案等は受け付けない。

8. 説明会の開催

本 RFI に関して説明会を開催する。

(1) 開催日時

令和7年6月13日（金）16:00～16:30

(2) 開催場所

オンライン形式（Microsoft Teams を想定）

(3) 参加申込説明会の参加を希望する場合、令和7年6月11日（水）16時までに、10. に示すメールアドレスに電子メールで申込を行うこと。

① 件名：【参加希望】地域交通 DX RFI の説明会について

② 必要情報：メール本文に以下の情報を記載すること。

企業・団体名、所属部署、役職名、氏名、TEL、Email

9. 参考資料

地域交通 DX の概要や「リ・デザイン」等の取組については、以下 URL のウェブサイト等を参照とすること。

- ・ 地域交通 DX: MaaS2.0 2025 年度事業に関する報道発表資料（2025 年 4 月 1 日）

https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000424.html

- ・ 地域交通におけるデジタル技術活用に関する調査研究の報告

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_fr_000190.html

- ・ 地域公共交通のり・デザイン

<https://www.mlit.go.jp/redesign/>

- ・ 「交通空白」解消等り・デザイン全面展開プロジェクト

<https://kotsu-kuhaku.jp/>

- ・ 「交通空白」解消本部

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000237.html

- ・ スマートシティ官民連携プラットフォーム

<https://www.mlit.go.jp/scpf/>

10. 資料提出および問い合わせ先

情報提供資料の提出および本件に関する問い合わせの連絡先は以下のとおり。

本 RFI に関する質問及び回答内容については、質問者が特定できないかたちで整理の上、「FAQ」としてウェブサイトに掲載する。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_fr_000192.html

国土交通省総合政策局モビリティサービス推進課 担当：内山、瀧岡、増野、水田、志賀、松本

TEL 03-5253-8980（直通）

電子メール hqt-mobilityservice1002@gxb.mlit.go.jp

以上